

講義名	日本語資格試験講座 【留学生科目】(2年生以上)			授業形態	
担当教員	小村 志保美	開講期・曜日・時限	前期 金曜日 1時限		
		単位数	2	履修開始年次	1年生

主題と概要

日本語能力試験N1の受験に向け、N1の文法、文字語彙、聴解、読解に対応できる日本語能力をつけることを目的とする。目標に向けて自ら学習し、日本語能力試験N1の合格を目指す

到達目標

目標に向けて自ら学習できるようになる。日本語能力試験N1レベルの文法、文字語彙、聴解、読解の各分野の問題を解けるようになる。日本語能力試験N1に合格することを目指す。

提出課題

予習、復習、ワークシート等、授業中に指示する。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

質問がある場合は、その都度、回答に応じる。中間試験・模擬試験は、クラスでフィードバックを行う。

評価の基準

中間試験(30%) 模擬試験(30%) 課題提出(20%) 授業への参加度(20%)

履修にあたっての注意・助言他

出欠は毎回とり、全授業回数の1/3以上欠席した場合は、単位を認定することができない。自分で設定した目標に向けて自律的に学習すること。

教科書

.使用しない。

参考図書

.なし。

その他

授業内で資料を配布

授業計画

1. ガイダンス、日本語能力試験N1 模擬試験、目標設定
2. 文字・語彙、文法、読解(内容理解)
3. 文字・語彙、文法、読解(課題理解)
4. 文字・語彙、文法、読解(内容理解)
5. 文字・語彙、文法、読解(ポイント理解)
6. 文字・語彙、文法、読解(主要理解)
7. 文字・語彙、文法、読解(概要理解)
8. 中間試験
9. 中間試験フィードバック、目標設定
10. 文字・語彙、文法、読解(総合理解)
11. 文字・語彙、文法、読解(即時応答)
12. 文字・語彙、文法、読解(情報検索)
13. 文字・語彙、文法、読解(総合理解)
14. 模擬試験
15. 模擬試験フィードバック、今後の目標設定

授業形態（アクティブ・ラーニング）

ア：PBL(課題解決型学習)	イ：反転授業(知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態)
ウ：ディスカッション、ディベート	エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク
○ キ：その他(ＡＬ型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合)	

準備学習（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

文字・語彙、文法について、自分のテキストを使用して計画的に学習すること...90分程度
 授業内で解説した箇所を確認し、解答できなかった問題を再度行うこと...90分程度
 目標を達成するための課題を学習すること...60分程度

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

留学生を対象とした科目群で、日本語の実用的かつ基礎的な語学力を修得するとともに、課題発見・課題解決に必要な情報を見定め、適切な手段を用いて収集・整理し、解決できる人材を育成する科目である。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

実務経験の有無及び活用

備考